

アンケート集計結果【平成26年度第1回】

今回のテーマは「食」に関することでした。

6月は食育月間です。また、毎月19日は食育の日に定められています。

市は、この月間を機に、みなさんに楽しみながら食の知識を深めていただき、毎日をイキイキと過ごす力を養ってもらうため、食に関するアンケートを行いました。

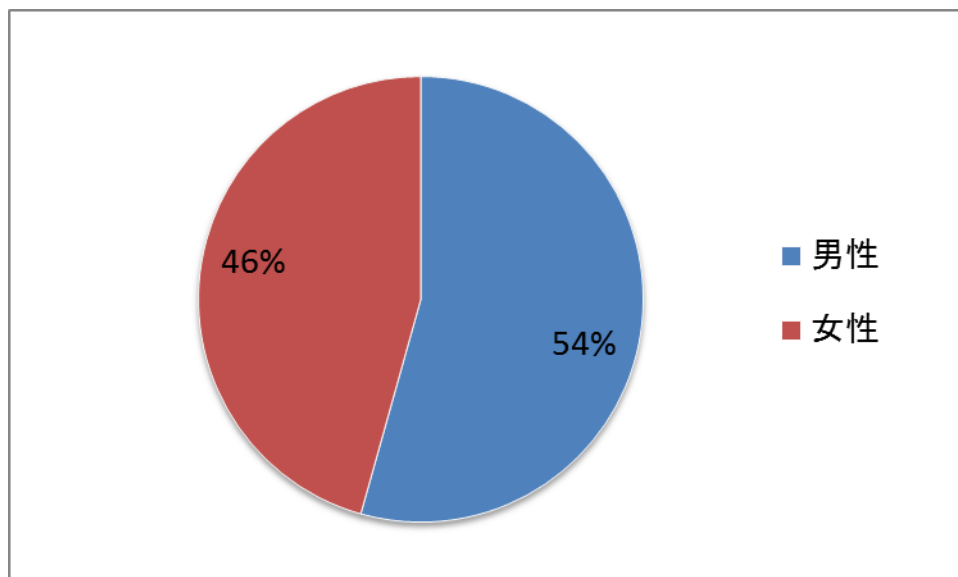
- ◆たなモニ登録者数 161人
- ◆アンケート実施期間 平成26年6月4日(水)～6月30日(月)
- ◆回答者数(回答率) 46人(28.57%)
- ◆担当課 健康推進課(電話 0774-64-1335)

1. アンケート結果

※各設問のNは、設問に対する有効回答者数を意味します。  
※割合(%)は小数第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答は合計が100%にならない場合があります。  
※複数回答の設問は、割合の合計が100%を超える場合があります。これは、回答総数ではなく、有効回答者数を分母としているためです。  
※本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、語句を簡略化し表示しています。

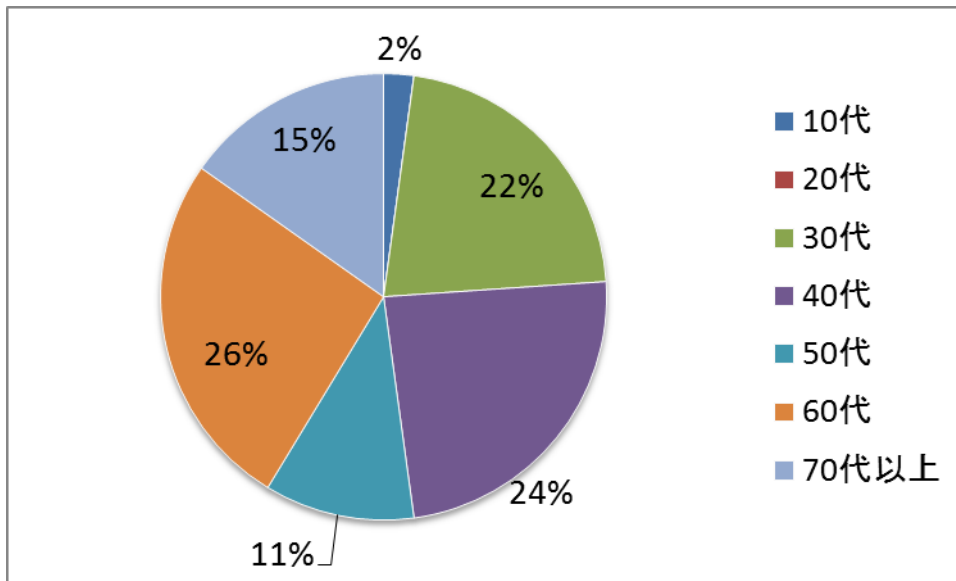
問1 あなたの性別は。

[択一選択・N=46]



問2 あなたの年齢は。

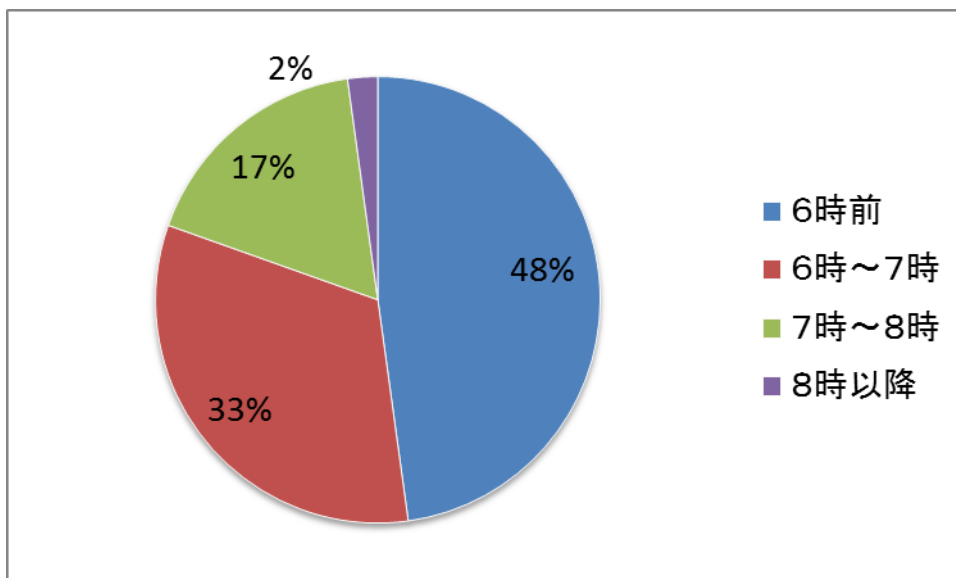
[択一選択・N=46]



※「20代」と回答した人は、0人でした。

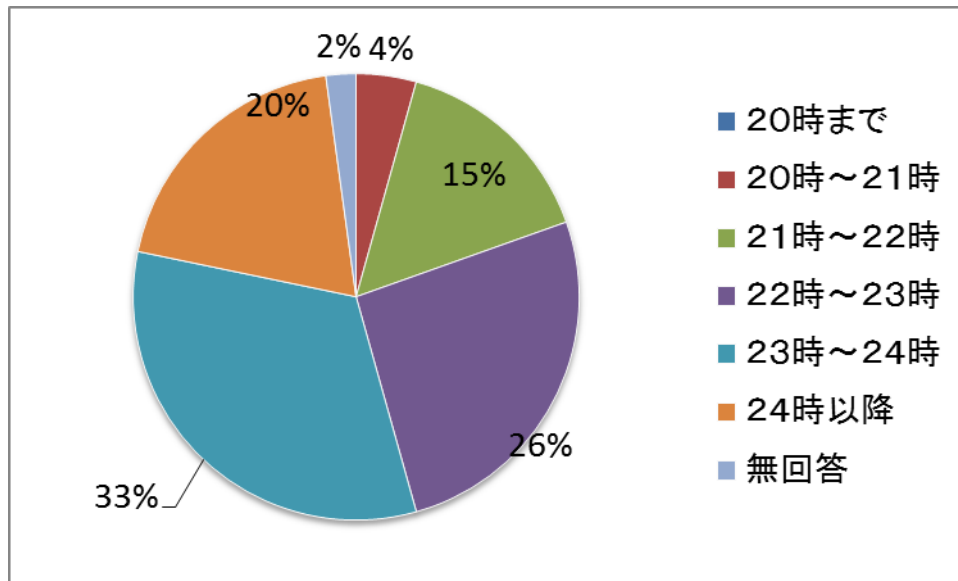
問3 朝、何時頃に起床しますか。

[択一選択・N=46]



問4 夜、何時頃に就寝しますか。

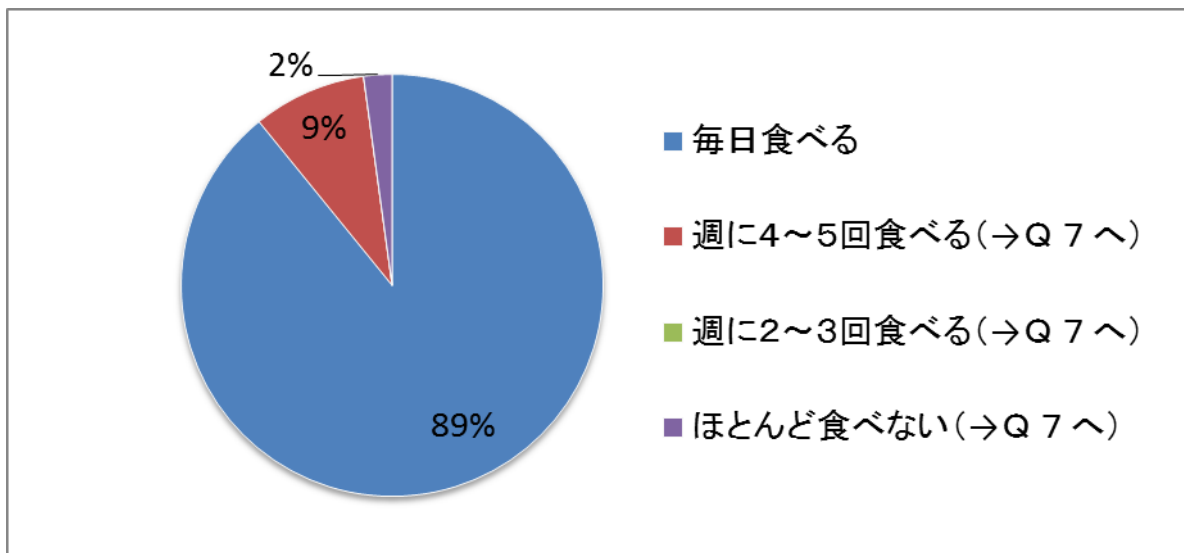
[択一選択・N=46]



※「20時まで」と回答した人は、0人でした。

問5 朝ご飯は食べますか。

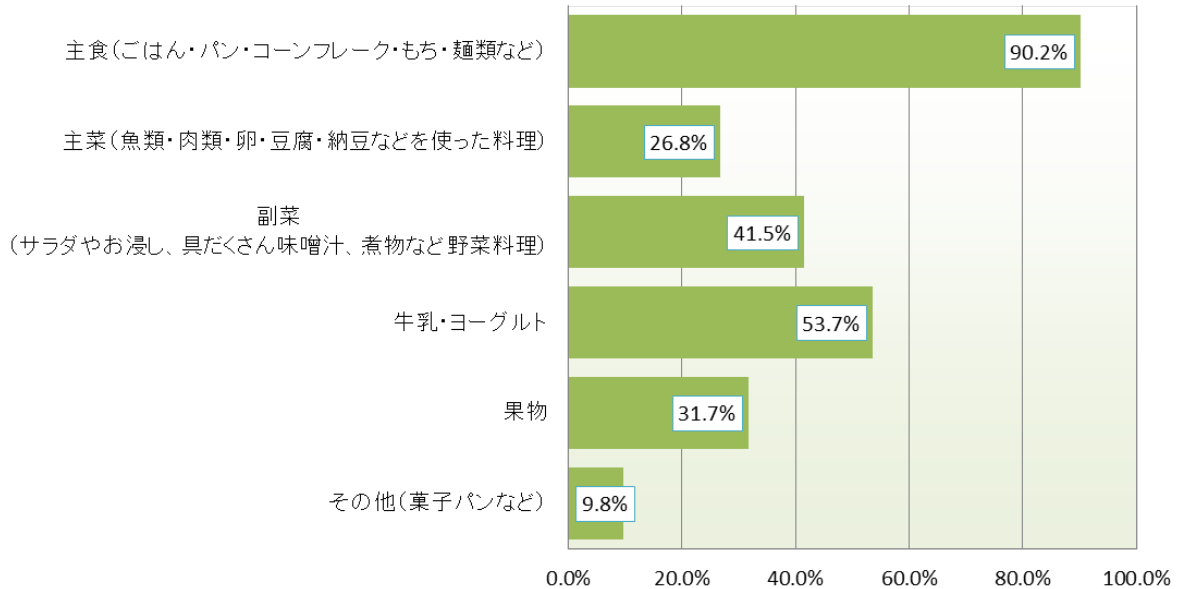
[択一選択・N=46]



※「週に2～3回食べる」と回答した人は、0人でした。

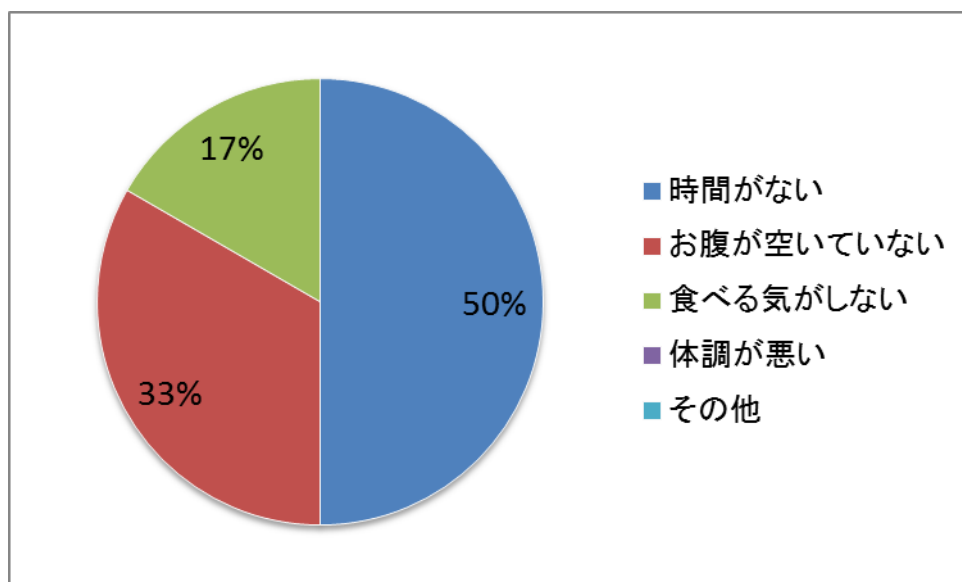
問6 Q5で「毎日食べる」と答えた方にお聞きします。何を食べますか。

[複数選択・N=41]



問7 Q5で「週に4~5回食べる」「週に2~3回食べる」「ほとんど食べない」と答えた方にお聞きします。食べない理由は何ですか。

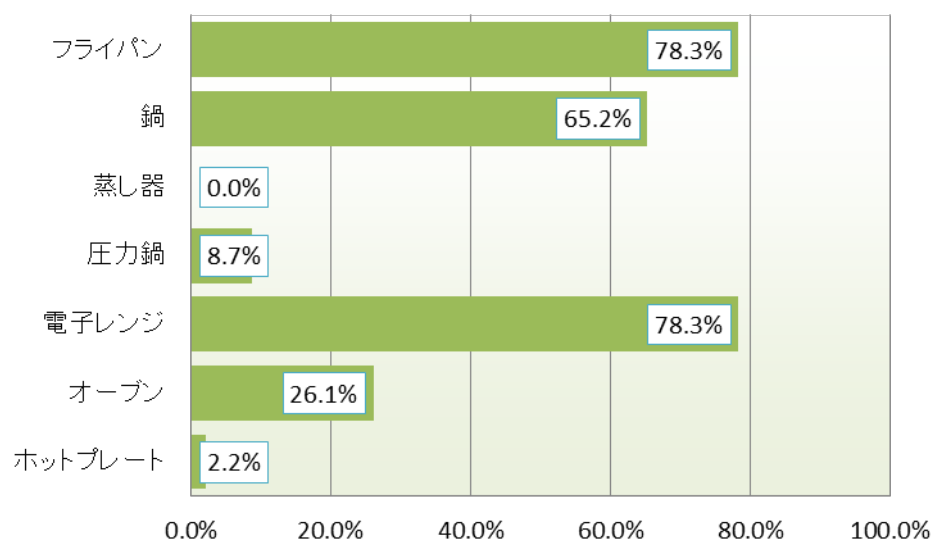
[択一選択・N=6]



「体調が悪い」「その他」と回答した人は、0人でした。

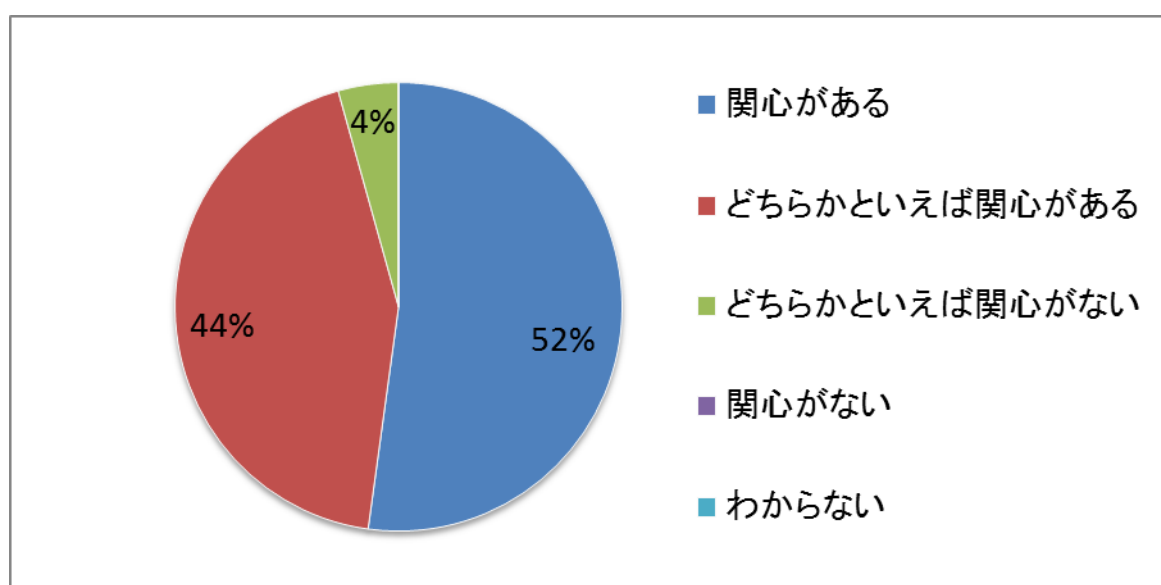
問8 あなたがよく使う調理器具はなんですか。主なものを3つまでお選びください。食育のためのレシピ作りの参考にします。

[複数選択・N=46]



問9 「食育」に関心がありますか？※「食育」とは、食べ物に興味を持ち、自分で自分の健康を考え、食べ物を選んだり、体調を整えたり、食事の時の挨拶をしっかり行ったり、食べ物に感謝をしたり、好き嫌いしないで食べることができるようにすることを言います。

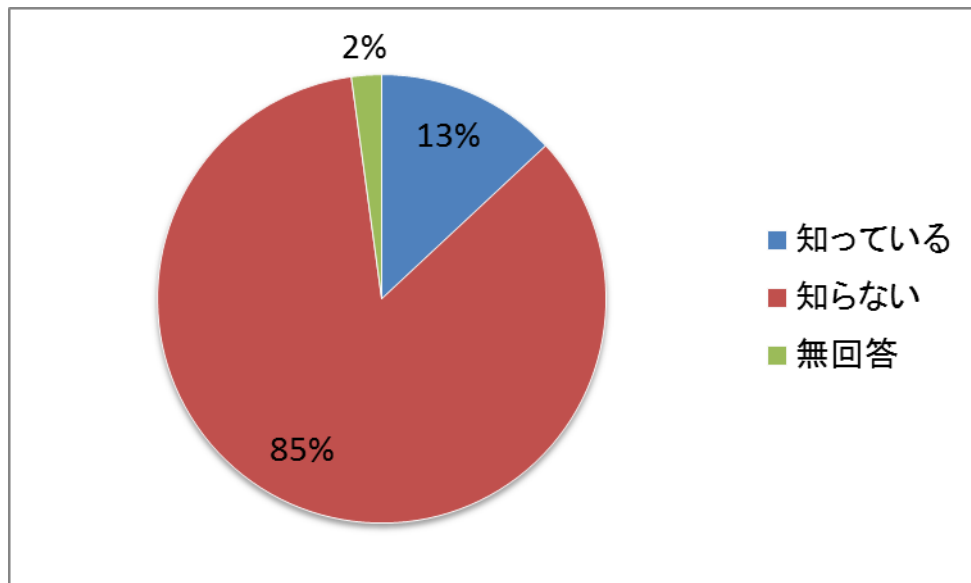
[択一選択・N=46]



※「関心がない」「わからない」と回答した人は、0人でした。

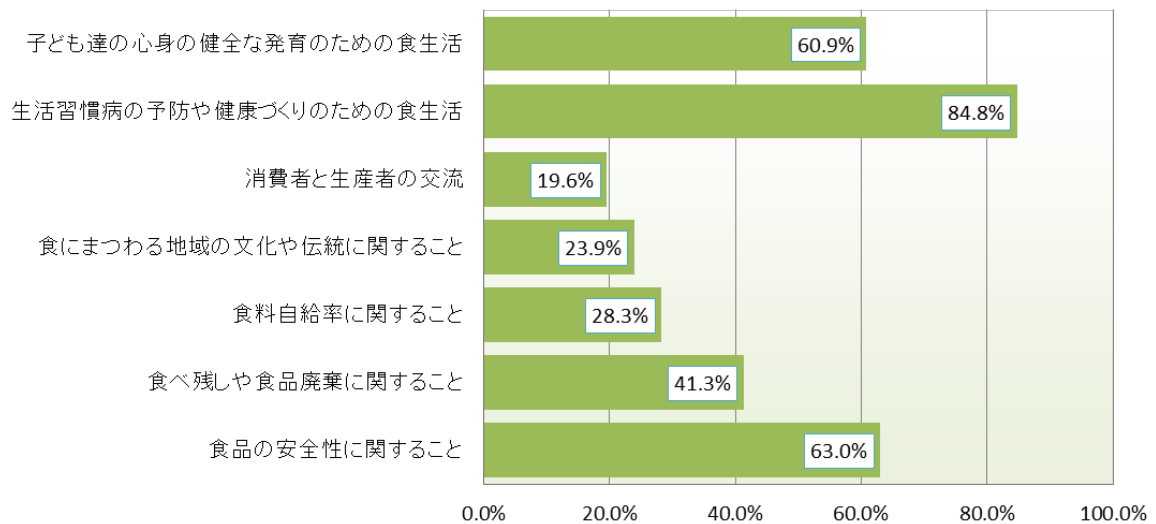
問10 「食育の日」を知っていましたか。

[択一選択・N=46]



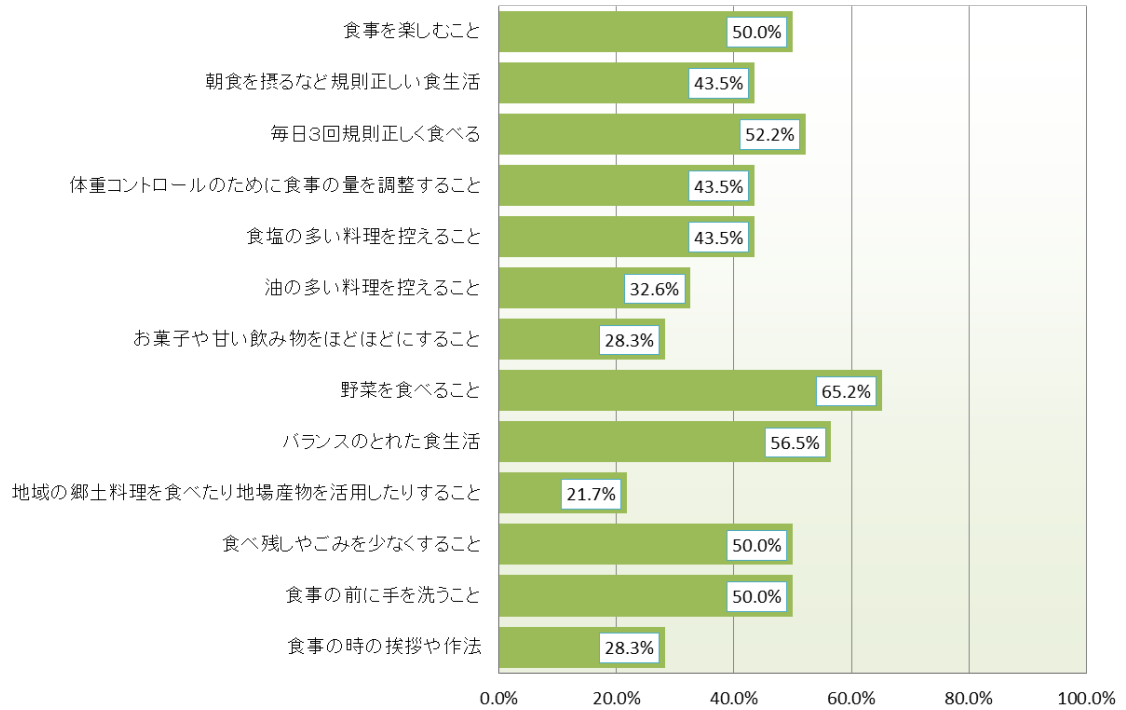
問11 次の項目の中であなたが関心があるのはどれですか。

[複数選択・N=46]



問9 ふだん自分の食生活の中で、どのようなことを心がけていますか。次の中からお選びください。

[複数選択・N=46]



問13 あなたが食に関して思っていることや、市が取り組む食育について感想や意見を自由にお答えください。

[自由記入]

●	市が食育に関してどんな取り組みを行っているのか全く知りません。 もっと紹介してほしいです。市の特産品である野菜やお茶などを食育に絡めてもっとアピールする場を作ってみたらどうでしょうか。
●	多少値段が高くても安全なものを食べたいと思っています。 地産地消ができるような、街になればと思います。
●	生活習慣病といわれる病気にとって規則的な食生活は私たちにとって大変重要な問題です。京田辺市も食生活の改善についていろんな啓発や取り組みをしていただいていますので大いに活用したいと思っています。
●	食育も色んな所、団体もやっているのでそんなところと協力して幅広くやってはどうか？
●	自分の健康につながるものであり、規則正しい食生活が大事あると考えている。
●	おいしく、楽しく をモットーにしています。
●	食育にすごく興味はあるのですが具体的にはあまりよくわかっていません。詳しく学べる機会があればすごくありがたいと思います。
●	中学校は義務教育なので、給食にするのが当然だと思う。
●	地産地消を心掛けたい
●	無農薬や無添加の重要性について、もっと広まって欲しいと思います。京田辺の地場産物をもっと広めて、地産地消になっていけば良いと思います。
●	『ごちそうさま、いただきます』の心を大切にしながら、食となる生物が多くの人々によってもたらされ、自分たちが生かされていることにいつも感謝をたく思っています。
●	市は子どもたちのために安全な食品を提供すべきであると考えます。給食等。地域の野菜地野菜をもっと宣伝したらいいと思う。
●	料理をしたことがない人に調理実習をするより、スーパーやコンビニで加工した食材を購入する方法やバランスのとれた買い物ができるような、より現実的な食育が必要だと思います。
●	小学校の給食において材料の地産地消(特に市内産の米・農産物)に取り組んでほしい
●	自分だけの食なら本当に楽ですが、食育は本当に難しいです。
●	夫の好きなものは子供が嫌い・・・子供が好きなものは夫が嫌い・・・。野菜中心にすると子供が食べない。野菜を摂取させるために細かく刻んだりオムライスにしてみたり。工夫はするもののうまいかないのが現状です
●	健康に生きていける食事を紹介して欲しいです



●	一人暮らしでの1人の食事は友人や家族との食事と比べて味気なくさみしく感じます。
●	美味しく楽しく食べることが大事で、好き嫌いはあまり強制しなくてもいいのではないかと思います。自分で育てたり、生産者のことを学習していく中で、自然と食べられるようになっていきます。
●	息子が小学校でいただく給食が毎日美味しい話をしてくれています。地元の野菜や手作りの温かいメニューを考えてくださって感謝しています。地元の野菜や玉露などのメニューをこれからも取り入れてほしいです。
●	何でも豊富に食べることができる今 楽しみとして食べるだけでなく、身体の健康維持のために食べるという事をも忘れずに 気を配った食生活を送りたいと思っています。そして、毎日の事でマンネリ化しやすいので ちょっとした食材の紹介やメニューなどを目につきやすく発信して頂けたらと思います。
●	食べものを大切に作る心を皆で持ちましょう。
●	50歳代後半からずっと高血圧症、高脂血症などの持病があり、悪化の一途を辿っているので、医師の指示に従い現在では、牛肉、豚肉などの肉類や油もの、塩分の多いものは極力控えている。牛乳は好きだが低脂肪乳とし、その他タンパク質源としてはできるだけ魚を食べる。また毎朝体重を測定して太りすぎないように食事の量を調整する。 こんな食生活なのでもっと肉類や油ものが食べたいであろう家内には申し訳ないとも思う。) 取るべき食事に関しては年代、個人などにより差異が多きと思うので、市役所の指導でどうなるものではなく、十分な栄養やカロリーが取れるかどうかは個人の責任においてなすべきと考える。したがって食育に関して市へのこうしてほしいなどの要望は今まで考えもしなかった。ただ最近話題になっている大阪市の中학생への-10°の冷凍室で冷やした給食はいかがなものかと思う。給食するなら、温める装置も整えて始めるべきだと思っている。以上
●	食育という面では、小学校の給食で色々な献立があり、子供も楽しく食べられているので、これからも取り組みを続けて欲しいです。出来れば中学校でも給食を導入してもらえれば、食の偏りが無くて良いのではないかと思います。
●	安全面で気になる中国からの輸入食品は、食べないようにしているが、表示が虚偽の場合一般市民ではどうしようもないので、市当局は、製造国、輸入業者、販売者が嘘の記載や宣伝をしないよう、監視監督をしてもらいたい。
●	現在、糖尿病であり、糖質制限食(糖質・炭水化物摂取を制限)を本年3月から実行しています。その結果、血糖値A1Cが1.5%改善しました。食事のバランスや食制限(腹八分目)等によって健康が維持できることを再度認識しました。
●	中央公民館や北部・中部住民センターの調理室をもっと有効に使った各種調理教室の開催



小学生は給食を通して食について学ぶ機会があるが中学生にはあまり無いような気がします。体が急に発達する中学生時にしっかりした食育をお願いしたいと思います。

他にもたくさんのご意見をありがとうございました。

**【担当課からのコメント】**

たなモニのみなさん、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

お答えいただいたアンケートは今後の食育事業を取り組む上で、参考にさせていただきます。今後も引き続きアンケートへの協力をお願いします。